

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Bendamustine [day1,2]+ Obinutuzumab療法【同日】

4 週毎 コース予定

疾患名 悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

【1コース目】

		day1	day2	day8	day15
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body	↓		↓	↓
ベンダムスチン	90 mg/m ²	↓	↓		

【2コース目以降】

		day1	day2
ガザイバ(オビヌツズマブ)	1000 mg/body	↓	
ベンダムスチン	90 mg/m ²	↓	↓

- 【注意】 * オビヌツズマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定はup直前におこなうこと。
* オビヌツズマブ投与は0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを通して投与すること。
* ベンダムスチンは調製後6時間以内に投与を終了すること。
* ニューモシスチス肺炎予防としてST合剤の予防投与を検討すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

【1コース目】

day 1

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服
- ③ デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

- ④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)
◎ 輸液ポンプにて 12 mL/時間 で点滴静注

Bendamustine [day 1,2]+Obinutuzumab療法【同日】

- ⑤ 12 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注
- ⑥ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 37 mL/時間 で点滴静注
- ⑦ 37 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注
- ⑧ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 62 mL/時間 で点滴静注
- ⑨ 62 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注
- ⑩ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 87 mL/時間 で点滴静注
- ⑪ 87 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 - ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

- ⑫ パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ⑬ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分
 - ◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下
- ⑭ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 2

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ③ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分
 - ◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下
- ④ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 3, 4 デキサメタゾン錠 8 mg 2× 朝昼 内服

day 8, 15

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

③ デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

⑥ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注

⑦ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

【2コース目以降】

day 1

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

② イブプロフェン(100 mg) _____錠 デザレックス(5 mg) _____錠 内服

デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注

☆30分後より

※前回投与において発現した有害事象がGrade2以下であった場合

④ ガザイバ 1000 mg + 生食 210 mL(全量 250 mL)

◎ 輸液ポンプにて 25 mL/時間 で点滴静注

⑤ 25 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間 で点滴静注

⑥ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 75 mL/時間 で点滴静注

⑦ 75 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間 で点滴静注

⑧ パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL 側管静注

⑨ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分

◎ 血管確保していた生食をベンダムスチンと同時滴下

⑩ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 2

① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)

② デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注

③ ベンダムスチン + 生食 50 mL 点滴静注10分

◎ 血管確保していた生食をトリアキシンと同時滴下

④ 生食 200 mLを点滴し、残りは破棄

day 3, 4 デキサメタゾン錠 8 mg 2× 朝昼 内服

	1コース			
	day1	day2	day8	day15
月日	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓		↓	↓
ベンダムスチン 開始時刻		↓		
確認				

	コース		コース		コース	
	day1	day2	day1	day2	day1	day2
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓		↓		↓	
ベンダムスチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース		コース		コース	
	day1	day2	day1	day2	day1	day2
月日	/	/	/	/	/	/
ガザイバ 開始時刻	↓		↓		↓	
ベンダムスチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						